

高校生が地域課題を研究 合同フォーラムで6校が発表



▲氷上高校の発表の様子



▲質疑応答



▲篠山東雲高校の発表の様子



▲氷上西高校の発表の様子

丹波の森若者塾合同フォーラム

丹波地域の県立高校6校の生徒が大学と連携しながら地域の様々な課題について研究した成果を発表する「丹波の森若者塾」合同フォーラムを2月4日(土)、県立丹波の森公苑・多目的ルームで開催しました。

6校の生徒が大学教員や地域住民が見守る中、パワーポイントで作成した資料を中心に活動内容を発表し、意見交換の後、それぞれの活動内容の評価や今後の展開などのアドバイスを関西大学佐治スタジオの植地室長から行われました。

また発表後の質疑応答では地域の参加者から激励の言葉や貴重な意見を聞くこともできました。

それぞれの地域の中で、さまざまなかたちで活躍の場が広がっています。丹波地域の未来を担う彼らの活躍に、今後も期待が高まります。(活動内容はP 4をご覧ください)

ご挨拶



丹波青少年本部
本部長

大木 康次

平素は丹波青少年本部事業にご協力、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。本年度も、悪書追放等で書店や、ビデオ店等の訪問指導、たんばこども塾、丹波の森若者塾、ひょうご出会いサポートセンター事業、列車指導、JRなどの駅前指導等がほぼ終わり、来年度を迎えようとしています。

基本にあります青少年憲章を基にして事業を行い、地域、学校、家庭などとの連携、協力を得ながら活動をしてまいりました。

さて、最近のY新聞に「太平洋ひとりぼっち」、堀江氏(ヨットマン)の見出し特集記事がありました。その中に「360度が海で怖くないのか?」とよく聞かれます。暗礁、悪天候、鯨の大群に遭遇するなど様々な危険にあいますが、怖いのは自分この想像力で自分自身を追い込んでしまうことです。そこで適度になることがどれだけ大切なことか、そして一つの山場を越えた後はありふれた夕日でも世界一美しいと実感します。一杯のお茶のありがたさも身にしみます。元気であれば100歳になってもヨットに乗り続けたい……。僕の姿を見て一步を踏み出そうという気になってもらえたら嬉しい——。次の航海も思い描いています——。84歳にしてこの気力、ギネス記録認定者の言葉である。そこにある「挑戦」と「やる気」について学ねば!と思いました。

今後とも青少年を取り巻く課題に対応するため各地域、各領域の皆様と一緒に未来を担う青少年の育成に努めて参りたいと思います。どうかご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

丹波青少年本部会議

令和4年6月16日(木)、県立丹波の森公苑多目的ルームにおいて「令和4年度丹波青少年本部会議」を開催しました。

会議は「令和3年度事業報告」「令和4年度役員選出」「令和4年度基本方針」等について原案どおり可決承認されました。

令和4年度の基本方針は「見せようおとなの背中伸ばそう子どもの芽」をスローガンに、「多様な活動主体と連携した協働事業の推進」をはじめとして、4本柱の施策体系に基づく各事業から成っています。



スクラム会議

丹波青少年本部と丹波県民局は令和4年6月16日(木)、県立丹波の森公苑多目的ルームにおいて「青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議」を開催しました。この会議は、青少年愛護条例の意義を十分に踏まえ、関係機関・関係団体等が行う非行防止の健全育成活動や関係業界の自主規制等に対する理解を深めるとともに、県民運動をより充実強化する方策を検討協議することが主な目的で、各種関係業界並びに関係機関の代表者、学校、警察署や行政等の関係者に出席いただき毎年開催しています。

令和4年度は篠山警察署刑事生活安全課長から丹波地域の青少年非行や青少年問題の実態について情報提供していただいた

他、丹波健康福祉事務所からは、薬物乱用防止に関する取り組みについて説明いただきました。

また、講師に中元康雄氏(幸地クリニック 精神保健福祉士、臨床心理士、キャリアコンサルタント)をお招きし、青少年のネット利用と依存についての講話をいただきました。



たんぼ子ども塾

先生は高校生！生徒は小学生！



篠山鳳鳴高校で集合写真



スプレーで色塗り



やさいの収穫



7月22日(金) 篠山産業高等学校
機械研究部

ワクワクワークショップ

お皿や鍋敷きなどにシールやデコレーションパーツで飾りつけ、オリジナルの時計づくりを楽しみました。



7月27日(水) 柏原高等学校
理科部

子ども科学実験教室

身近な材料でスライムづくりや空気砲、空き缶つぶし、ろうそくを使った実験を体験しました。



7月29日(金) 氷上西高等学校
コンピューター部

プログラミング講座

ゲーム感覚でプログラミングを体験できる課題解決型ゲームソフト“アルゴリズムック”を楽しみました。

丹波地域の6高等学校の高校生が先生となり、小学生(小学4年～6年生)を対象に各高校の特色を活かし講座を開催しました。

平成12年から丹波独自の事業として取り組んでいます。毎年多くの小学生の参加があり、青少年健全育成活動の主要な事業として定着しています。



8月2日(火) 篠山鳳鳴高等学校
インターアクト部・デカンショバンド
デカンショ節を楽しもう

丹波篠山を代表する代表的な民謡の演奏、楽器体験、クイズ、歌詞づくりを楽しみました。



8月4日(木) 篠山東雲高等学校
自然科学部
田んぼの生きものを調べよう！

田んぼ(ビオトープ)に入って魚や昆虫などの生きものを採集し、それぞれの特徴を観察しました。



8月10日(水) 氷上西高等学校
生産ビジネス科
夏野菜カレーを作るのだ

高校の農場で育てている野菜を収穫してカレー作りや野菜の勉強をしました。美味しいカレーができました。

丹波の森若者塾

丹波地域の6高等学校の高校生が、丹波地域で活動を行う協力大学と連携しながら、1年を通じて地域課題解決のための研究活動を行う事業です。

篠山鳳鳴高校

色と感情の関係

将来、篠山に貢献できるような効果的なイラストやデザインの案を制作するために、「色と感情について」をテーマに研究を行いました。

人によって同じ食べ物でも印象が変わるのはなぜか調べ、人は五感のうち視覚の割合が8割を占めており、食欲が見た目に左右されることが分かりました。暖色系の色は食欲を進め、寒色系は食欲をなくす色であり、写真では背景色との組み合わせにより印象に違いがでることが分かりました。

今後は丹波篠山の黒豆アイスを使って、味、季節、温度などから連想され、より美味しく見せることができる風景を背景にした時に、食べてみたいという好奇心が食欲を引き立たせるのかを検証したいと考えています。



篠山産業高校

機械工学科と連携した商品開発

私たち総合ビジネス科は機械工学科と連携し、企業から提供していただいたサイコウッドを利用してスティッキー、ミニボウリングの制作を行いました。スティッキーは「Bo-Bo-」、ミニボウリングは「ボウミング」とネーミングを考えキャッチコピーやデザイン、パッケージなどをブレインストーミングとKJ法の二つの方法を使い考えました。全員の意見を出し合い商品企画、開発を行いました。新しいものを生み出すことの難しさ、自分の意見や考えを出すことの大切さ、商品に購買意欲を持たせることの難しさ、笑顔で大きな声で接客する大変を感じることができ、普段の授業では体験できないことを学ぶことが出来ました。



篠山東雲高校

地域と都会をつなぐ潤滑油に～神戸大学連携事業に参加して～

15年目を迎えた神戸大学と丹波篠山市が連携し取り組んでいる実践農学入門に大学生と一緒に古市地区の農家さんでの農村体験活動に参加しました。

5月から11月までの農業実習で、山田錦の田植えや黒豆の播種、黒枝豆の栽培、落花生や小豆などの収穫を行い、1月に成果発表を行いました。

大学生と農家の方は、年齢居住地、農業経験など共通項は見当たりませんが、東雲高校の生徒は大学生と年齢が近く、農家の方とは丹波篠山在住、農業経験など、大学生、農家の方とそれぞれに共通項をもつ東雲高生が間を取り持つ潤滑油になれるのではと考えました。これからの地域と社会を支える潤滑油として貢献できるように信頼される人材に成長していきたいです。



柏原高校

丹波地域在住外国人の交流・防災支援 柏原町内のユニバーサルツーリズム

私たちインターアクト部は春日部地区の子ども会のイベントにボランティアで参加、スプラッシュ丹波でインターアクト部の活動等を紹介、青少年赤十字創設100周年行事で救急救命の研修、丹波市主催の認知症啓発活動で啓発用パンフレットの配布、だんないカフェでお手伝い、防災国体に参加、GOGOフェスタでワークショップ、たんばっ子学びフェスタでは進行役、韓国の高中生との交流などの様々な活動をしました。今までに経験のしたことのない体験ばかりで、子どもたちと触れ合う機会が増えたり、ボランティアに参加して他校と交流したりと、ほかでは体験できない活動でさらに成長できたと思います。この学びを日々の生活に活かしていきたいと考えます。



氷上高校

トウキ葉ソーセージの商品開発

私たちは兵庫医科大学の皆さんとトウキ葉を活用した商品のアイデアを考え、多くのアイデアの中からトウキ葉の特徴である高い栄養価と独特の香りを活かしたソーセージを開発することに決めました。初挑戦で作ったソーセージは主役のトウキ感がなく、食感もボソボソとし失敗しましたが、何度も試行錯誤を繰り返しました。篠山ハム株式会社のみなさんにご指導いただき、ソーセージを完成することができました。買ってくださる方が安心して購入してもらうために製造工程の動画を撮影、ラベルデザイン、食品の栄養表示、Instagramや新聞など情報発信などを行い商品の販売を行いました。

商品ができるまでの苦労とやりがい、ビジネスとしての利益を得るための工夫や食品衛生の徹底など多くのことを学びました。



氷上西高校

関西大学佐治スタジオと連携して地域活性化に取り組む

氷上西高校では「輝く地域の星となれ」をスローガンに年間100回以上、のべ700人以上が地域に出て、まちづくり活動を行っています。

まちづくり活動の方針は丹波の課題と解決法を自分たちで考え、地域の方々と協力して実際に形にすることです。

地域の方や先生、生徒に来てもらうことを目的とした放課後カフェを実施し、佐治で開催される福よせ雛、道の駅のタベ、八宿祭りなどのイベントに参加をしています。道の駅のタベでは紙コップを使った灯籠の土台を作り子ども園の子どもたちに将来の夢を描いてもらいました。八宿祭りでは射的のお店を出店したり、昆虫食、丹波布の切れ端を使ったアクセサリを販売したりしました。



高校生通学列車等マナー指導

令和4年度高校生通学列車等マナー指導は、6月、11月に丹波地域内の関係7校で、各校の実情に合わせた取組みが行われました。

丹波青少年本部では6月28日(火)に、警察署や少年補導員連絡協議会、防犯協会、市の職員等と合同で列車内指導を実施しましたが、マナー違反をする生徒はいませんでした。

7校でマナー指導を実施された内容は以下のとおりです。

強調月間実施内容

- ・最寄りの駅構内でマナー指導を実施
(篠山産業高校、篠山鳳鳴高校、氷上高校、柏原高校、氷上特別支援学校)
- ・通学列車内でマナー指導を実施
(篠山産業高校、柏原高校、氷上高校)
- ・自動車通学・徒歩通学のマナー指導を実施
(篠山東雲高校、篠山産業高校、篠山鳳鳴高校、柏原高校、氷上高校、氷上西高校、氷上特別支援学校)



ひょうご子ども・若者応援団

企業や団体等から提供される多様な資源を青少年育成活動に取り組む団体・グループに橋渡しをしています

マッチング事業

青少年の健全育成を目的として活動する団体・グループに対して、企業などから提供いただいた資源(物資・人材など)を橋渡しします。資源の情報はメール・FAXで1年に4回程度お知らせいたします。資源の提供には「ひょうご子ども・若者応援団」への登録が必要です。

令和4年度マッチング例

お菓子・飲料・クラフト材料・ブリザーブドフラワー・虫よけスプレー・蚊取り線香・シール紙詰め合わせ 等



大地農園様からご提供いただいたクラフト材料で作りました。

一般助成事業

青少年育成活動を展開する青少年団体・グループ等の運営基盤の安定化と活動の充実・活性化をめざして、同団体・グループ等が実施する自然体験・社会参加・青少年リーダーの養成などの青少年育成事業に対して1件あたり10万円を限度として助成します。

お問い合わせ

公益財団法人兵庫県青少年本部
「ひょうご子ども・若者応援団」担当

〒650-0011

神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8階

TEL 078-891-7410 FAX 078-891-7418

ホームページ <https://seishonen.or.jp/>

※登録書類はホームページからダウンロードできます。



子どもの冒険ひろば

NPO法人や青少年団体と協働し、平成15年から「子ども冒険ひろば」を開設しています



子どもたちが、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを原則に、土・木・水などの自然の素材を自由に使ってプレーリーダーや地域の大人が見守る中で、自由な発想でいきいきと遊ぶことができる場所です。

丹波地域の
冒険ひろば

里山ごんげんさん 毎週土曜 午前10時～午後3時



丹波市氷上町谷村89
NPO法人バイオマスフォーラムたんば(前川)
0795-80-2158 <http://bf.tamba.tv/>



丹波青少年本部長賞

丹波青少年本部では、令和5年2月4日(土)県立丹波の森公苑多目的ルームにおいて、丹波地域で日常優れた青少年育成活動に貢献されている個人及び団体のみなさまに対し、標記の賞をお贈りしました。本年度の受賞者は、次の方々です。

丹波地区更生保護女性会山南支部和田校区班 様
丹波市子ども会育成協議会 様
丹波市俳句協会 様
梶村 元秀 様



丹波青少年本部賛助会員ご入会のお願い

次代を担う青少年を育成するためぜひご協力をお寄せください

丹波青少年本部が実施している自主事業は、皆様からの温かいご支援(賛助金)によって実施しています。

丹波地域の青少年の健全育成のために、是非「賛助会」にご入会ください。年間を通じ、随時受け付けております。

賛助会費

普通賛助会員(個人)	年額一口 2,000円
普通賛助会員(団体・企業)	年額一口10,000円



ご入会手続き・お問い合わせは・・・丹波青少年本部事務局 TEL:0795-72-0500まで

丹波出合いサポートセンター

丹波出合いサポートセンターは令和5年2月末に閉所致しました。平成22年の開所以来多くの方にご利用いただきありがとうございます。

今後は、スマートフォンなどのオンラインで会員登録・閲覧を行い、お見合いスポット(対面)又はオンライン(Zoom)でお見合いが出来るようになります。

詳しい内容は、ひょうご出合いサポートセンターホームページをご覧ください。

令和5年4月からお問い合わせ等は、神戸センターが対応致します。

電話番号 078-381-6820

開所日 火曜日～日曜日(休館日 月曜、祝日)

開所時間 10:00～18:00

ひょうご青少年憲章

(平成12年3月制定 新兵庫県青少年憲章制定県民会議)

- 1 自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気を持って未来を拓いていこう

「ひょうご青少年憲章」は、憲章制定県民会議を中心に、県民の総意のもとに制定された青少年育成のための基本指針です。